

横川	A	B	C	D	E	F	G	H	I
	東京父兄会 米英会	東京父兄会 米英会	東京父兄会 米英会	支那越前 小町向	支那越前 小町向	支那越前 公使館上	支那越前 小町向	支那越前 公使館上	支那越前 小町向
開港地點				笠山の上					
C O D	10(20)	20(10)	15(5)	0	50(50)	5	10	5(20)	5 (15)
P H	0(0.8)	8.5(7.5)	8(0.8)	7.5	9.0(9.0)	8.0	8.5	9.0(8.0)	8.7(8.0)
N H 4	0(0)	0(0)	0(0.4)	0	0(0.5)	0.5	0.5	0(0.25)	0.2(0.3)
N O 2	0.1	0.05	0.02	0.02	0.2	0.5	0.5	0.2	0.1
再開 活性期	1.5(0.5)	0.1(0.3)	0.1(0.2)	0.1	1(0.4)	0.2	0.5	0.2(0.2)	(0.3)
E C	0.23	0.21	0.22	0.105	0.36	0.37	0.33	0.31	0.28
において	あり	なし	なし	なし	ヘドロの 中にない	ヘドロの 中にない	なし	なし	なし
にござり	あり	なし	なし	なし	あり	あり	少しあり	少しあり	なし

荒川流域 一斉水質調査 マップ 入間川 水系

実施日：1997年6月8日（日）AM10:00 開始

※COD, Ph, NH₄などのカッコ内数値は昨年9月8日調査数

※地図内の○はCOD値 (mg/L)

(ABCは位置参照用、明記していない場合もあります)

○=0~5 ◇=6~10 △=11~20 ■=21以

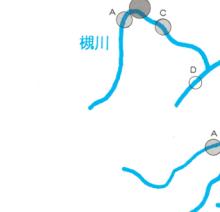
* = NH4 2以上 * = NH4 5以上

荒川水系は裏面

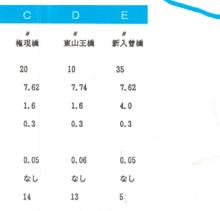
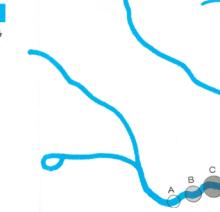
都幾川	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
調査地点	都幾川村 田尾地区	都幾川村 吉原地区	都幾川村 吉原地区	真山町 二瀬地区	真山町 はまのの里	真山町 月田郷	東松山 神代大橋	東松山 唐子橋 周辺地区	東松山市 東松山橋 周辺地区	東松山市 東松山橋 周辺地区	東松山、荒堀 複合河川
COD	10(0)	5(0)	15(3)	15(3)	0 (20)	6(30)	5 (4)	20 (3)	10	2(2)	10(2)
PH	7.0 (8.0)	8.5 (8.0)	7.0 (8.3)	8.0 (8.3)	8.5 (8.3)	7.5 (8.5)	9.0 (8.5)	9.0 (8.0)	8.0	9.3 (8.0)	8.5 (8.5)
NH4	0.0(2)	0.0(1)	0.0(1)	0.0(1)	0.1(0.2)	0.2(0.2)	0.0(0.5)	0.0(0.5)	0.0	0.0 (2.0)	0.0 (2.0)
N O 2	0.02	0.02	0.05	0.05	0.02	0.1	0.1	0.05	0.1	0.03	0.18±0.03
界面活性剤EC	0.1(0.2)	0.2(0.1)	0.2(0.2)	0.2(0.1)	(0.2)	(0.2)	0.2(0.5)	0.2(0.5)	0.2	0.2(0.5)	0.5
におい にこり	0.138	0.169	0.2	0.21	0.3	0.28	0.25	0.33	0.31	0.29	



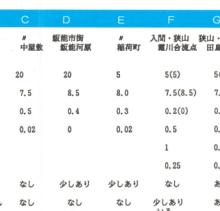
測定地点	A	B	C	D	A	B	C	D
	鳩山町 新沼	鳩山町 竹之瀬浦	鳩山町 黒部 宣上浦	磨芋川 上流	五十嵐川 東松原町高瀬	中根 土岸	中根 若狭別院	中根 間瀬
C.O.D	5	5	10(5)	10(5)	10(10)	10(5)	50(5)	20(5)
P.h	8.0	8.5	7.5(7.0)	6.5(7.5)	7.0(8.5)	8.5(9.5)	7.5(8.0)	
N.H.N	0	1	0(0.5)	0(0.5)	0.8(7.5)	0(4.0)	0.8(1.0)	4(0)
N.O.2	0.02	0.05	0.2	0	0(0)	0.02	0.3	0.3
界面 活性剤 E.C	0.173	0.250	0.360	0.62	0.2(0.1)	0.5(0.1)	2.0(1.0)	1(0.1)
において	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
にござり	なし	なし	なし	なし	あり	あり	あり	あり



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
越辺川	生駒山	毛利山	山城町	場山町・安東	坂戸町・坂戸	荒川町・荒川	川島町・川島	川島町・坂戸	川越市・川越	
調査地点	生駒山	毛利山	山城町	場山町・安東	坂戸町・坂戸	荒川町・荒川	川島町・川島	川島町・坂戸	川越市・川越	
	初秋	初秋	初秋	夏	夏	夏	夏	夏	夏	
	枝葉下	枝葉下	枝葉下	枝葉上	枝葉上	枝葉上	枝葉上	枝葉上	枝葉上	
C O D	5(0)	7(5)	5(2)	5(0)	20(0)	4(3)	5(2)	5(2)	50	
P h	8.0(8.5)	7.5(8.5)	7.5(8.5)	7.5(8.5)	8.0(8.0)	7.5(8.0)	7.7(7.8)	8.0(8.0)	7.5(8.0)	8.0
N H 4	0.0(2.0)	0.0(5.0)	0.0(0)	0.0(0)	0.21±0.16 (0.25)	0.30±0.25 (0.21)	0.20(0.1)	0.30(0.25)	0.3(0.25)	5
N O 2	0	0.5	0.7	0.65	18±0.03	0.18±0.03	0.07	18±0.03	0.8	0.5
界面活性剤 E C	0	0.1(1.0)	0.1(0.1)	0(0)	0(1)	0(1)	0.2(0.8)	0(1)		
においにごり	なし	なし	なし	なし	少しあり	特になし	なし	特になし	あまりなし	少くさみ
	なし	あり	あり	なし	なし	少し	あり	少し	少しにあり	濃い

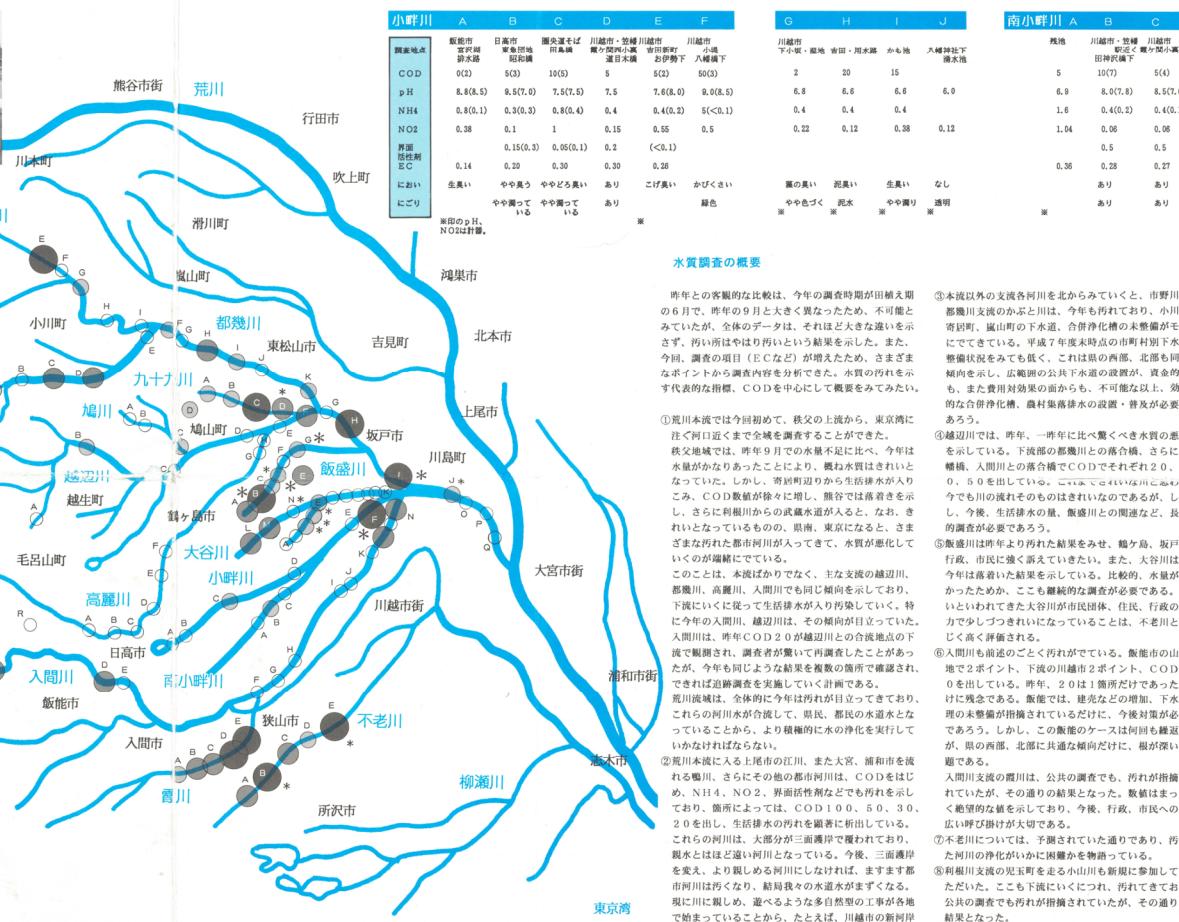


飯盛川							入間川
	A	B	C	D	E	F	G
調査地点	鶴ヶ島市 鶴ヶ島市立高根中学校 八一モニ 上流	鶴ヶ島・荒川 海岸	星戸 天狗池	荒川 公園堤防	支流の源頭 電池電池	飯盛川 コンドミニアム 飯盛川	飯盛川本流 久林
COD	20(10)	100(10)	8(5)	10(10)	20(10)	3(0)	10(10)
pH	8.5(8.5)	8.5(8.0)	7.5(8.0)	7.0(6.5)	7.0(7.6)	6.5(6.5)	6.5(7.0)
NH4	0.5(0.5)	10.0(0.5)	1.5(5.0)	2.0(2.0)	5.0(24.0) (4.0)	0.2(0.5)	5.0(5.0)
NO2	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0(0.3)	0.02	1.0
表面活性剤 EC	0.2(0.1)	5.0(0.2)	2.0(2.0)	2.0(5.0)	(2.0)	0.2(0.2)	1.0(5<)
において	0.92	0.62	0.55	0.50	0.40	0.40	なし
にござり	なし	なし	美しい	少しあり	なし	なし	少



大谷川	香川			香川			坂			坂口	
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
岡山県 太田ヶ原村下沼	大蔵公民館前 太田ヶ原公民館前	岡山市立 太田ヶ原公民館前	富貴見 公園前	八ヶ岳 公園前	川越市 太田ヶ原 公民館前	工業団地 下水処理場	東京戸田地区 西谷ヶ崎	初瀬の家前 金糞川	金糞川 河口	上谷溝	野町3号線
COD	5(5)	5(10)	10(5)	19(<5)	10(<10)	5(5)	7	5	5	5	5
pH	7.0(7.0)	7.0(7.0)	7.1(6.8)	7.5(6.0)	7.5(6.8)	7.5(8.5)	7.2	7.0	8.0	7.5	7.5
NH4	0.5(0.5)	0.5(1)	2.5(2.0)	2.0(0.5)	3.0(10.0)	0.3(0.5)	1.5	1.0	1.5	1.5	0.8
NO2	0.1	0.2	1.0	1.0	1.0	0.3	1.0	1.0	0.5	1.0	1.0
表面 汚染 度EC	0.1(0.1)	0.1(0.1)	1.0(1.0)	1.0(1.0)	1.0(1.0)	0.2(1.0)	0.2(0.5)	0.2	0.2		
におい	なし	なし	少しあり	あり	少しあり	なし	なし	なし	なし		
にこり	なし	なし	あり	あり	あり	あり	なし	あり	あり		

L	M	N
鶴ヶ島市 逆さま	給食センター上谷沼7丁目	
15(20)	20(5)	5(5)
6.5(7.0) 0.5(0.5)	6.5(7.0) 1.0(2.0)	7.5(7.5) 2.0(2.0)
0.02	0.50	0.50
0.1(0.1)	0.3(1.0)	0.2(0.5)
0.20	0.25	0.20
なし	なし	なし
なし	あり	なし



水質調査の概

昨年の季報の比較は、今年の調査結果が田畠開拓の6月で、昨年の9月と大きく異なったため、不能とみていたが、全体のデータでは、やはり大きな差違を示す、所にはやはりいいう結果を示した。また、今回、調査の項目（Eなど）が増始めたため、さまざまポイントから調査内容を分析せざる、小川の入れ代入式代表の指揮権、COOを中心にして概要をみたい。

①荒川本流では今回初めて、秩父の上流から、東京湾に注ぐ河口近くまで全河道を調査することができた。秋穀地帶では、昨年9月の水位不足に比べ、今年は水量がかなりありたること、特に櫻井地区はきれいとなっていた。しかし、野町付近では生活排水が入り込み、COD濃度が倍に増し、熊谷では落着きが遅くなり、さくに利根川からの廃水が入るなど、なお、起きあつた。

④越辺川は、昨年、一昨年に比べ驚くべき渦水質の悪を示している。下流部の都幾瀬川との合流点、さらに鶴橋、人間川との合流点でCODでそれぞれ0.4、0.5、0.5を出ていている。こゝでいってはいなみ川へまでは今で川の流れそのものは生き残っているのであるが、しかし、今後、生活排水の、御所川との連絡などがあり、

れいといなっているものの、県南、東京になると、さまざま汚れた都市河川が入ってきて、水質が悪化していくのが弊害は確実である。

このことは、本流ばかりでなく、主な支流の越辺川、都幾川、高麗川、入間川でも同じ傾向を示しており、下流にいくに従って生活排水が入り汚染がしていく。特に今年の入間川、越辺川は、その傾向が目立っていた。今年は落着いた結果を示している。比較的、水量が少なかったためか、ここも継続的な調査が必要である。いといわれてきた大谷川が市民団体、住民、行政の力で少しづづきれいになっていることは、老農と若農

入間川は、昨年COD2.0が越辺川との合流地点の下流で観測され、調査者が驚いて再調査したことがあったが、今年も同じような結果を複数箇所で確認され、できれば沿岸浄化を実施する。アリバゲサギである。

じく高く評価される。

⑥入間川も前述のごとく汚れがでている。飯能市の山地で2ポイント、下流の川越市2ポイント、COD0.9を出している。既存の2.0は1箇所だけでは足りない。

荒川流域は、全体的に今は汚れが目立ってきており、これらの河川水が合流して、県民、都民の水道水となっていることから、より積極的に水の浄化を実行していかなければならぬ。

(2)貿易本流に入る上巣地の荒川、また大宮、荒川市を流れ
る鴨川、さらにその他の都市河川は、CODをはじめ、NH₄、NO₂、界面活性剤などでも汚れを示し
ており、箇所によっては、COD100、50、30、
0ppmまで、生息生物の死滅が著しく出現している
題である。

荒川支流の荒川は、公共の調査でも、汚れが指摘
されていたが、その通りの結果となった。数値はまつ
た縮絶的な値を示しており、今後、行政、市民への
啓発と対策が求められる。

これらの川は、大部分が三面岸川で覆われており、
堤防とはほとんど違う川面になっている。三面岸川
を案え、より親しみのある川になれば、まずは都
市河川をなくすなり、結果日々の水質が悪くなる。
現に川に親しみ、遊べるような自然の工事が地
域で始まっていることから、川は、川市の海岸部
不老町については、予測された通りであり、再
開河川の流れがいかにも雑然と作られている。
④利根川支流の荒川も東京へ走る小川にも新規に参加して
みたいこと、こも下流にいくにつれ、汚れであれてお
かしくなる調査でも汚れが挿絵されていたが、その通り
結果となった。